

(3) 浄水場・清掃工場の二酸化炭素

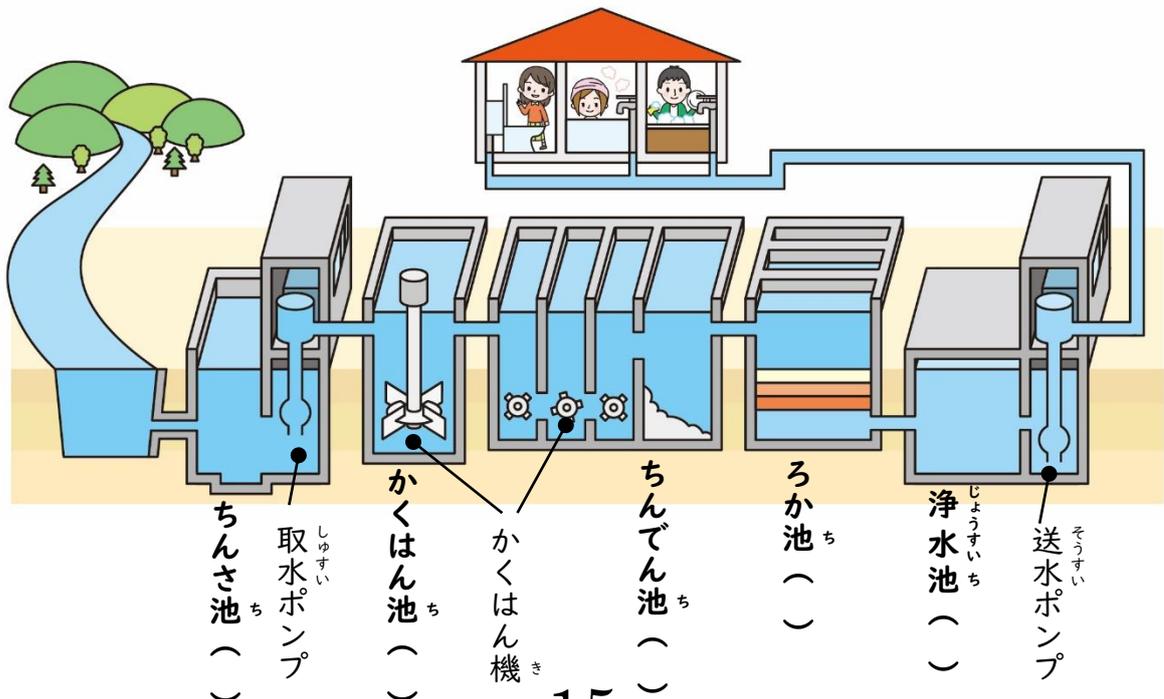
わたしたちが毎日使う水道水は、浄水場で川やダムの水をきれいにしてつくられます。浄水場で水道水が作られるときや、浄水場から水道で家まで水を届けるときには電気が使われます。電気を使うということは、発電所で二酸化炭素が出るということです。つまり、家や学校で水道水を使うことも、二酸化炭素を出すことにつながっているのです。



ワーク⑥ 考えてみよう

下の浄水場のイラストを見て、電気を使っていると思うところに○をつけてみよう。

(浄水場のしくみについては、4年生の社会の教科書で調べよう。)



わたしたちが毎日出すごみも、地球温暖化とつながりがあります。

ごみ収集車で運ばれたごみはどこへ行くのでしょうか。ごみは、

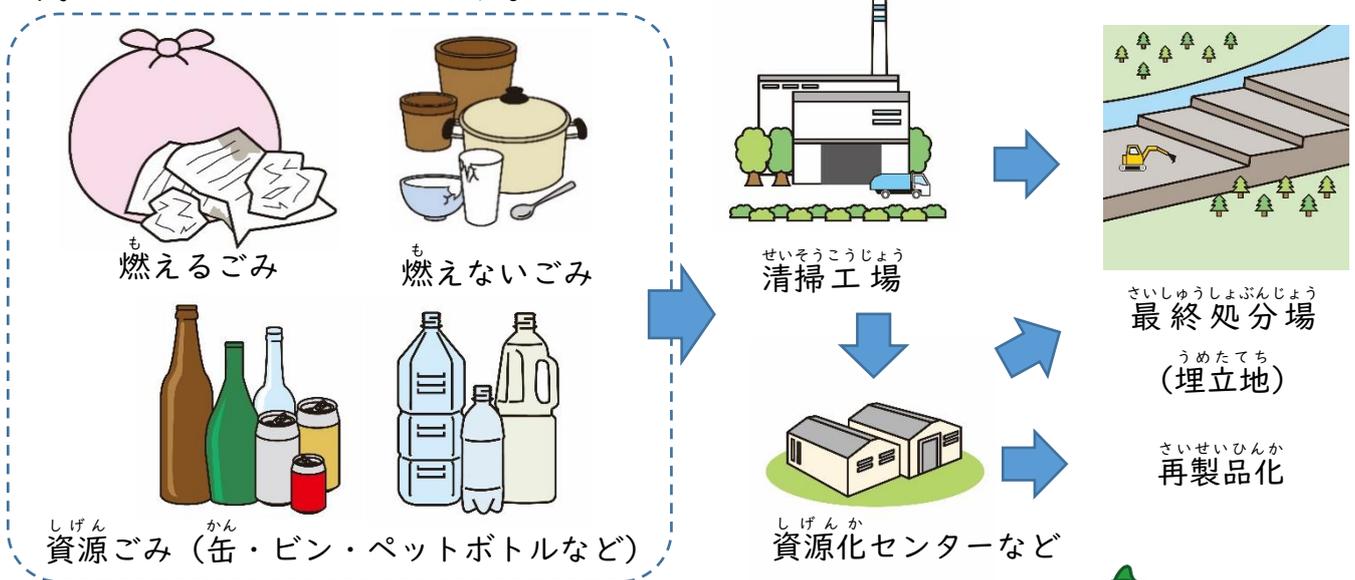
種類によって処理のしかたがちがいます。燃えるごみ(燃やすごみ)

は清掃工場に運ばれます。

清掃工場でごみが燃やされるときには二酸化炭素が出ています。

ごみを減らしたり、きちんと分別したりすることは、地球温暖化を

防ぐことにつながります。



ワーク⑦ 調べてみよう

みんなが住んでいるところでは、ごみはどこへ運ばれているか調べてみよう。

燃えるごみ

燃えないごみ

資源ごみ (缶, ビン, ペットボトルなど)

